

業 務 の 名 称	AIを用いた分流式下水道における雨天時浸入水対策技術実証研究
業 務 概 要	本研究は、新下水道ビジョン加速戦略の重点項目VI 防災・減災の推進を目指すものであり、具体的には、機械学習や深層学習AI技術を活用して、流入水等から下水処理場の対応判断や運転操作等のガイダンスを可能とし、かつそれにより下水処理場設備の水没・浸水・汚泥流出等を回避し、ポンプ運転操作の効率化を図る技術を実証するものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 国土技術政策総合研究所長 木村嘉富 茨城県つくば市旭1番地
契 約 年 月 日	令和4年6月16日
契 約 業 者 名	三菱電機(株)・(大)東京大学・(公財)愛知水と緑の公社・愛知県共同研究体
契 約 業 者 の 住 所	東京都千代田区丸の内2-7-3
契 約 金 額 (税 込 み)	¥36,245,000
予 定 価 格 (税 込 み)	¥36,245,000-
随意契約によることとした理由	<p>本委託研究については、国土交通省水管理・国土保全局により設置された学識経験者等からなる下水道革新的技術実証事業評価委員会において、あらかじめ研究開発課題の公募を行い、同会議において審査基準に基づき審査された結果、令和3年2月、本研究課題及び委託先(三菱電機(株)・(大)東京大学・(公財)愛知水と緑の公社・愛知県共同研究体)が選定されたものであり、令和4年3月に同会議で中間評価が行われ、研究の継続が妥当であると評価されたものである。なお、令和4年3月の中間評価結果等については、国土交通省のホームページ等で詳細に公表されている。</p> <p>以上のことから、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により、随意契約するものである。</p>
業 務 場 所	茨城県つくば市旭1番地
業 種 区 分	-
履 行 期 間 (自)	令和4年6月17日
履 行 期 間 (至)	令和5年3月31日
落 札 率	-
再 就 職 の 役 員 の 数	-
備 考	